

3/B 451  
安東

S 1.1.1.0-2

2550

REEL No. A-0023

0023

アジア歴史資料センター

在安東日本領事館

多端ノ折柄事變防止ノタメ警察廳ヨリ青年會教育會各學校外交後援會ニ  
 對シ嚴ニ集會結社討論運動等ヲ禁止スヘキ旨通達セシメタリ之カタノ五  
 月九日ノ國恥紀念日ニ東遼兩科中學校ニ於テ國恥演說會ヲ開キタルノミ  
 ニテ一般平穩裡ニ經過シ又外交後援會カ五月十三日元寶山娘娘廟祭日ヲ  
 利用シ排日市民大會ヲ舉行スヘシトノ噂アリタルモ實現スルニ至ラサハ  
 キ

右御參考迄報告ス

本信寫送附先 在支公使 奉天總領事

S 1.1.1.0 - 2

2552

在安東日本領事館

本件ニ關シ五月五日機密第一二八號拙信報告後漸次東遼時報紙上ニ京津  
 方面發行ノ支那新聞記事轉載セラルルヤ血氣ニ逸ル學生中ニハ排日的漫  
 語ヲ校內ニ貼布シ或ハ排日歌ヲ高唱スルモノモアリトノ聞込アリタルヲ  
 以テ本官ハ道尹ニ對シ學生ノ輕舉妄動ヲ戒メ又新聞記事ノ取締及ヒ排日  
 運動防止方申入レタル處道尹ハ東遼時報主筆ニ訓戒ヲ與フルト共ニ時局

在濟南日支軍隊衝突事件反響ニ關スル件

S 1.1.1.0 - 2

2551

昭和三年五月十五日

在安東 領事 岡田兼一

外務大臣男爵 田中義一 殿

一三九

亞細亞局 昭和三年五月拾八日接受

事變ハ地方的問題ナレハ之カタノ日支兩國民間ノ好感ヲ傷クルカ如キ運動ハ差控度トノ意見ヲ有セリトノ趣ナリ又警察情報ニ依レハ總商會ニ於テハ本月十六日全國商務聯合會ヨリ日本ト經濟絶交實施方照會ニ接シタルカ同商會ハ安東ハ特殊地域ナルヲ以テ經濟絶交ヲ實施スルニ便ナラストシ該照會ニ對シテハ回答ヲセストノコトナリ

尙平安北道知事ノ通報ニ依レハ當館管内寬甸縣ニ於テハ四月二十三日寬甸縣外交後援會長顧慶霖以下三十餘名ハ四月二十三日會議ヲ開キ排日ニ關シ別紙ノ如キ決議ヲ爲シ同縣大平哨ノ學校生徒ハ五月七日排日示威行列ヲ行ヒタリトノ趣ナリ

右御參考迄報告ス

本信寫送附先 在支公使 奉天總領事

S 1.1.1.0-2

2554

在安東日本領事館

4412.1112  
611.0312

普通第一四三號

昭和三年五月十八日

在安東 領事 岡田兼一

外務大臣男爵 田中義一 殿

濟南事變ト支那側ノ對日態度ニ關スル件

濟南事變發生以來當地支那人ノ對日感情漸次惡化ノ傾アリ最近安東總商會ハ濟南事變ニ關聯シ北京總商會ノ内争ヲ止メ外侮ニ當ルヘシトノ通電ニ對シ贊意ヲ表セシモ多數會員ハ山東出兵ハ日本ノ民意ニ非ス又濟南

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2553

亞細亞局

昭和三年五月廿二日 附屬書添附 接受

記

在安東日本領事館

五、排日運動ノタノ對日經濟絶交ヲ爲ス様奉天安東總商會宛檢文ヲ送ス  
ルコト

六、中國内ニ居住スル日鮮人ノ驅逐ヲ繼續的ニ斷行シ日本ノ勢力ヲ驅逐ス  
ル様奉天全省外交後援會宛請願スルコト

七、今回排日運動ニ際シ一般民衆ハ大ニ目重シ輕舉妄動的ノ行爲ニ出テ日  
鮮人トノ間ニ不詳事件ノ惹起スルヲ嚴禁ス

八、各地ニ於ケル排日運動ノ進展ニ伴ヒ適時緊急會議ヲ開催シ實行方法ヲ  
討議スルコト

S 1.1.1.0 - 2

2556

況議事項 (譯文)

一、日本ハ我國ヲ無視シ居留民保護ニ藉口シ今回又復山東出兵ナシタルハ  
之全ク侵略主義ニ外ナラサルヲ以テ本外交後援會ハ奉天全省外交後援  
會及安東縣外交後援會ヲ督勵シ全國各地外交機關宛檢電ヲ發送セシメ  
五月七日國耻記念日ヲ期シ全國的ニ排日運動ヲ開始セシメ日本政府ノ  
反省ヲ促シ直チニ撤兵センコトヲ期ス

二、寬甸縣内ニ於ケル國耻記念日ニ對スル諸準備ハ本會評議ニ一任ス

三、本會ハ商務會ニ依頼シ國境各地ニアル商務分所ヲシテ日本官憲ノ諸新  
施設及態度ヲ内偵報告セシムルコト

四、本縣外交佐治員ヲシテ日本山東出兵ニ對スル民衆ノ反對運動狀況ヲ調  
査セシメ安東交涉署ニ報告セシムルコト

在安東日本領事館

S 1.1.1.0 - 2

2555

459

本信寫送附先 在支公使 奉天總領事 吉林總領事

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2558

458

4/2,11/2

亞細亞局

機密第二三六號

昭和三年七月二十四日

在安東 領事 岡田 兼

外務大臣男爵 田中 義一 殿

吉林經濟救國同志會宣傳書ニ關スル件

警察課報ニ據レハ安東總商會ニ於テハ六月二十四日吉林經濟救國同志會ヨリ左記要旨ノ宣傳書ヲ接受シタル處之ヲ發表スルニ於テハ外交問題ヲ惹起スル虞アリトシ秘密裡ニ集リ居タル趣ノ處一般支那測宣傳書ト多少趣ヲ異ニスルヤニ存セラル、ニ付御參考迄報告ス

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2557

レ何ソ堪フルヲ得ン伏シテ思フニ南北戦争ハ我國ノ内政問題ニ屬シ勝敗ハ自ラ終結ノ日アリ所謂兄弟鬩<sup>ニ</sup>外其ノ侮ヲ渠ク濟南南軍ニ占領セラ  
 ルト雖モ究竟中國ノ土地ナリ日人何ソ出兵シ復タ砲撃スルヲ得ンヤ蔡  
 公時南軍官吏ニ屬スト雖中國人民ナリ何ソ鼻ヲ割テ眼ヲ削ルヲ得ンヤ之  
 フ思ヘハ<sup>此</sup>裂ケ之ヲ言ヘハ酸鼻ナリ日章旗ヲ強制掲揚セシメ鐵路ヲ占領ス  
 ルノ舉ニ至ツテ更ニ荒謬絶倫ニ屬ス是ヲシモ忍フヘクンハ何レカ忍フヘカ  
 ラサルモノアランヤ管ニ之ノミニ止マラス殊ニ甚シキハ張大元帥ニ迫リテ  
 吉林五路（吉會、吉海、吉五、延海、吉大）建築權ヲ讓與セシメントシ調  
 印ヲ強制シタリシモ幸ニ張大元帥愛國愛民ノ心ニ本キ堅ク承認セサリシモ  
 猶一縷ノ希望アル如シ然シテ日本ノ山東出兵ヲ觀ルニ敢ヘテ公理人道ヲ悖  
 棄シ悍然トシテ之ヲ爲ス其ノ吉林五路ニ對スル何ソ輕卒ニ手ヲ引カンヤ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2560

謹ンテ一腔ノ血兩眼ノ淚ヲ捧ケ商會父老ニ泣告ス  
 吉林商界父老鈞鑒  
 今次南北戰ヲ構ヘ四月二十九日南軍濟南ヲ占領スルヤ日本ハ在留民保護ニ  
 名ヲ藉リテ山東ニ出兵シ故意ニ<sup>二</sup>勢ヲ開キテ華兵ヲ攻撃シ五月五日外交公署  
 署ヲ包圍シ交渉員<sup>三</sup>云時ノ鼻ヲ割キ眼ヲ削リテ死ニ致シ同時ニ官員ノ死難  
 スルモノ十有八人電報局員ノ食料ヲ絶タレテ斃ル、モノ數人復タ重砲ヲ用  
 ヒテ濟南城ヲ擊破シ南軍ヲシテ退城セシメ武装ヲ解除スルコト一萬餘人街  
 路上ニ機關銃ヲ用ヒテ橫射シ軍民ノ死傷スルモノ既ニ五千名以上ニ達ス中  
 國商舖ニ迫リテ日章旗ヲ掲揚セシメ膠濟鐵路ヲ占據シ日兵ノ到ルモノ現ニ  
 既ニ四五萬人ニ達シ仍ホ繼續出兵セントス此ノ如キ行爲ハ直ニ國際公法ノ  
 容レサル所人道ノ許ササル處ナリ日本人常ニ親善ヲ曰フ此ノ如キ親善ハ我

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2559

シテ一藩展フルナカラシム今ニ於テ急起直追スル能ハサレハ日本ノ東三省ニ於ケル勢力ノ鞏固ナルヲ以テシテ縱ヘ中國ヲ亡ス能ハサルモ東三省ヲ亡スコトハ其ノ望アリ故ニ本會謹ンテ一腔ノ熱血兩眼ノ痛涙ヲ捧ケテ泣告ス本會擬スル處ノ對日經濟絶交ノ辨法數則必スシモ善ヲ盡サスト雖赤心ハ諒察スヘキアリ若シ能ク一言ノ採ルヘキアラハ諸公率ヒテ之ヲ行ヘハ東三省亡ヒス交渉亦利ヲ護ルナルヘシ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2562

況ンヤ日本今次ノ濟南出兵ハ吉林五路ヲ讓奪セントスルノ手段タリ東ニ聲シテ西ヲ擊ツハ是レ日本人外交ノ常用手段ニシテ各國新紙各載スル處アリ思フニ諸公明鑑能ク之ヲ察知セラ~~ル~~ルヘシ日本ノ東三省ヲ經營スル三十餘年東三省ノ血脈既ニ殆ント盡ク更ニ此ノ五路ノ建築ヲ許サハ直ニ筋ヲ抽キ皮ヲ剥キ餘ス處一個ノ骨ノミナラン本會錦繡山河ノ形將ニ玉碎セントスルヲ痛ミ祖宗ヲ此土ニ葬リ生者ヲ此地ニ養フヲ念ヒ起ツテ呼號シ挽救ノ道ヲ希ハントス國ノ爲~~メ~~メ義ノ爲~~メ~~辭スルヲ容ルサス然シ言微ニシテ力薄ク事奏效シ難シ公等皆一時ノ碩彦ニ係リ社會ノ中心ヲ占ム果シテ能ク引イテ已ノ事トシテ率ヒラン我吉林七百萬人民起ツテ抵抗セハ中國亡ヒス交渉勝利總テ望アリ現今國家ノ強弱ハ經濟ヲ以テ權衡トス我國經濟後ニ落ツ故ニ日人之ヲ利シ中國經濟上一切ノ命脈ヲ掌握ノ中ニ操ントシ層々束縛シ我ヲ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2561

ノ三年間ノ輸出超過ヲ計算スルニ八十三萬六千四百十六圓ニシテ皆大豆、木材、石炭、鐵、五金等ノ原料品ナリ輸入ハ棉絲日用家具化粧品煙酒等ノ精製品ナリ即チ日本ハ中國ヨリ一千萬圓ノ原料品ヲ購買シテ製出後三千萬圓四千萬圓ノ價值トシテ中國ニ輸出ス其ノ差額ハ當然日本ノ利益トセルモノナリ此ノ如キハ人體ノ呼吸出氣多ク入氣少キカ如キモノニシテ豈斃レサルヲ得ンヤ故ニ滿洲能ク絶對ニ原料ヲ賣却スルヲ禁止スルヲ得ハ日本ハ嘗ニ其ノ食ヲ奪ハルルノミナラス其ノ死ヲ速ニスヘキナリ又工業國ノ恃ム處ハ國外貿易ニ良好ノ市場ヲ有スルニアリ察スルニ歐米各國ハ工業發達現  
 在日本ノ上ニ在リテ當然日貨購入ノ必要ナシ且ツ各國トモ保護關稅ノ制度アリテ日貨ノ輸入困難ナリ加フルニ日貨ハ品質粗惡ニシテ歐米人ノ觀迎ヲ受ケス惟中國工業既ニ落後シ一般人民亦外貨ヲ嗜好スルニ依リ日貨ハ遂ニ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0 - 2

2563

經濟絶交ハ能ク滿洲ヲシテ交渉ノ勝利ヲ得ルノ理由  
 日本ノ面積ハ二十六萬八千方哩ニ過キス人口ハ七千七百萬ニ達シ工業立國ヲ以テ方針トセサルヘカラス而シテ其ノ原料ヲ本國管内ニ於テ供給センカ産出ナシ之ヲ歐米ヨリ購買センカ歐米亦自己ノ經濟地位ヲ保持センカ爲メ當然之ヲ肯ンセサルヘシ況ンヤ歐米各大強國ハ工業ノ發達皆日人ノ上ニ在リ原料又須ク國外ヨリ購入セサルヘカラス此種ノ關係ニ依リ日本ノ工業上ニ要スル一切ノ原料ハ惟中國ヲ策源地トスルアルノミ最近三年間ノ調査ニ據ルニ民國十三年中大連ヨリ日本ニ輸出シタルモノ計一百三萬九千一百二圓日本ヨリ大連ニ輸入シタルモノ計七十七萬一千七百八十四圓民國十四年中輸出九十六萬五千九百四十四圓輸入七十七萬六千三百五十二圓民國十五年中輸出二十四萬四千六百四十六圓輸入八十六萬四千二百九十圓ナリ而シテ此

在安東日本領事館

S 1.1.1.0 - 2

2562 - 1



加フルニ吾人ニシテ日本ニ對シ經濟總交スルノ結果ハ其ノ内閣地位ノ倒ル  
 ル論ヲ俟タス將來何人カ組閣スルモ其慘暴侵略ノ手段ヲ敢ヘテセサルヘシ  
 故ニ對日經濟總交ハ中國ヲ保チテ亡ヒサラシメ日本政府ヲシテ我範圍ニ就  
 カシメ更ニ一步ヲ進メテ日本カ我ニ迫リテ訂結セシメタル一切ノ不平等條  
 約ヲ解除セシムルノ可能アリ我國ノ商業是ヨリ發展スルヲ得ヘシ此ノ道ハ  
 猶鐵板ニ釘ヲ打ツ如ク疑ヲ用ヒサルヘシ

何故必ス商界ヨリ發起セサルヘカラサルヤ

前清庚子ノ役中國人民排外ノ表現ハ思想既ニ愚鈍方法亦粗暴ナリシ結果ハ  
 國聯軍入京シ地ヲ割キ款ヲ賠シ中國ヲシテ一蹶起ツ能ハサルニ至ラシメタ  
 リ之ヲ言ヘハ心痛シ之ヲ思ヘハ淚落ツ民國以來幾度カ外人ノ無理要求ヲ受  
 ケ民國四年日本ハ二十一箇條ヲ要求シ民國七年吉林人民范侯澤ヲ破毀シ民

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2565

中國最大ノ商場ヲ占有シタリ而シテ中國内地ニハ英米各國ノ之ト競争スル  
 アリ加フルニ近年國人ノ抵制奮勉ノ結果日人大打撃ヲ受ク而シテ我東三省  
 既ニ外人ノ之ト競争スルナク遂ニ日人ニ東三省ノ市場ヲ壟斷セラレ人民抵  
 制ヲ加ヘス故ニ日本七千七百萬人民ノ生命ハ過半滿洲人民ノ養フ處ナリ若  
 シ我東三省ニシテ能ク半年間日貨ヲ抵制スルヲ得ハ日本ノ工業ハ當ニ大影  
 響ヲ受ケ工廠閉シ工人失業シ鐵路電報航業銀行等一切ノ事業皆廢馳ニ赴  
 クヘキハ必然ノ現象ナリ日本人民ノ田中内閣今次山東出兵ニ對スル輿論ヲ  
 觀ルニ純然田中カ自己ノ地位ヲ維持センカ爲メ公理ニ悖叛スルヲ顧ミス此  
 ノ侵略手段ニ出テタルヲ知ルニ足ルヘシ各國輿論亦田中ヲ以テ中國侵略ト  
 爲シ在留民保護ノ簡單ナル問題ニアラスト爲ス田中ハ此ノ環境ノ下ニ處シ  
 現ニ國人ノ不滿ヲ受ケ復タ各國ノ攻撃ヲ受ケツツアルヲ證スルニ足ルヘシ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2564

流通禁止ノ如キモ若シ商家日幣ヲ拒絕セハ日幣當然根絶スヘシ之等ハ總テ  
 淺近ノ理ニシテ實行シ易キ事ノミ既往ニ於テ成功シ能ハサリシ所以ハ商人  
 皆壁上ノ觀ト爲シ僅ニ少數ノ學生ノ呼號スルノミニテ乃チ事ニ濟スナキナ  
 リ今我商界諸公内政不干ニ本キ無益ノ排外行動ヲ爲サス群策群力死ヲ奮ツ  
 テ抵制セラルヘシ再ヒ失敗ヲ招カハ吾頭ヲ割キテ之ヲ謝セン

經濟絶交商家一時ノ損失ニ過キサルノ理由

經濟絶交ハ須ク商界諸公ニ於テ唱導實行セサルヘカラサル事前節既ニ之ヲ  
 略述シタリ然シテ商家ノ人亦食ハサルヘカラス生活ハ買賣シ獲ル處ノ餘利  
 ニ頼ル今對日經濟絶交セハ商家一時ノ損失ハ或ハ免レサラン大豆商ノ如キ  
 從來大豆販賣ヲ以テ營業ト爲ス而シテ東三省ノ大豆多ク日人ニ買收セラレ  
 ツ、アリ今日人ニ賣ルヲ許サストセハ一時ノ間他國商人又ハ中國商人等日

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2567

國八年五四運動民國九年日本延吉各地ニ出兵スル等一々枚舉ニ違アラス然  
 シテ狂然發起スルモノ多クハ一般青年學生ニシテ既ニ實力ノ以テ抵抗スヘ  
 キナク又商民ノ援助ナク只一時ニ喚呼スルノミ今日危機切迫ノ秋ニ際シ考  
 フルニ我國政治軍備皆日本ニ對抗スル能ハス根本ノ方法ハ惟經濟絶交ノ一  
 途能ク效ヲ奏スルアルノミ現在ニ於テ經濟ノ樞機ヲ操ルモノ亦惟商界ノ諸  
 公アルノミ<sup>厨</sup>ハ原料輸出ノ如キ乃チ商人カ各地ニ零碎購買シテ日商ニ販  
 賣シツツアリ若シ我商人絶對ニ日商ニ賣ラサレハ原料輸出制限ノ事爲シ得  
 ヘシ日貨ヲ買ハサルノ事亦然リ何レカ日貨ニシテ何レカ日貨ニ非ラサルヤ  
 ハ一般人ハ知り難シ惟商家ニ於テ商品仕入ノ際某貨ハ某工廠ノ製造スル處  
 ナルヲ知ルヲ得日貨ニ非ラサレハ之ヲ購買シ日貨ナリセハ之ヲ購買セス商  
 家若シ日貨ヲ賣ラサレハ日貨ヲ欲スルモ其ノ何レニ於テ購買センヤ又日幣

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2566

ハ謂フ對日經濟絶交ハ一時ノ損失ニ過キスト諸公當ニ吾言ノ慮ニ非ラサルヲ知ルヘシ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2569

人ノ如ク商價ニ買收セラレヘシ又綿布商ノ如キアラユル綿布類ハ多ク日貨ニ係ルモノナリ今之ヲ抵制セハ國貨又ハ他國品ニシテ之ト同様ノモノナカラシムルモノトスルモ日貨ノ如ク利ヲ獲ルヲ得サルヘシ況ンヤ各商家資本ニ大小同シカラス資本多キモノハ多少ノ損失ハ猶能ク負擔スルヲ得ルモ資本少キモノハ恐ク負擔スル能ハサルヘシ既往ニ於ケル日貨抵制ノ成功セサル所以ハ之ニ因ス然モコハ畢竟一時輕微ノ損失ニシテ若シ東三省一致シテ日貨ヲ抵制セハ半年ノ後日本ハ即チ支持スル能ハサルコト前ニ既ニ之ヲ述ベタリ中國工業ハ此ノ機會ヲ籍リテ發展スヘキコト疑ヲ容レス其時各商ノ機會ハ自然平等ノ地位ニ趨クヘシ況ヤ我國家ノ淪亡ヲ挽救スル爲メニハ痛ヲ忍ンテ此ノ一時ニ耐ユルヲ得ヘシ我國若シ能ク亡ヒサレハ此ノ舉當ニ能ク裨補スルアラシク然ラサレハ鴉片ヲ飲ンテ渴ヲ止ムルカ如ク其死免レ難シ故ニ吾

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2568

473

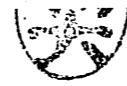
右御参考迄報告申進ス

S 1.1.1.0 - 2

2571

BII

472



亞細亞局

400.12171

南京全國商會臨時大會開催ノ件  
警察牒報ニ據レハ安東總商會ニ於テハ本月十八日奉天省商聯合會ヨリ  
左記照會ニ接シ一、二名ノ代表ヲ派遣スヘク目下協議詮衡中ナリト云

外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

在安東 領事 岡 田 兼



機密第三四六 號

昭和三年十月二十四日

通商局

第二課

昭和三年拾月廿九日接受

排 台 車

S 1.1.1.0 - 2

2570



(分類 1.1.1.0-2-4)  
412.1112

本報告は、拓務省の委託による調査結果及び排日運動の進行状況を調査したものである。

通商局

普通第三六九號

昭和三年十一月十七日

在安東 領事 岡田 兼

外務大臣男爵 田中 義一 殿

濟南事件後ニ於ケル排日運動ノ當地方貿易ニ及ホ  
セル影響等調査ノ件

本件ニ關シ調査シタル所左記ノ通ニ付何等御參考迄ニ報告申進ス

S 1.1.1.0-2

2573

記

本月十六日南京全國商會聯合會ヨリ十一月十日南京ニ於テ全國各省商會臨時大會ヲ開催シ諸種ノ建設改良事項並ニ利權回收等ニ關シ協議シタキニ依リ代表ヲ派遣セラレ度キ旨電報ニ接シタルヲ以テ貴會ニ於テモ至急派遣代表ヲ詮衡シ其ノ氏名ヲ通知セラレ度シ

BII

S 1.1.1.0-2

2572

濟南事件後ニ於ケル排日運動ノ對支貿易ニ及ホセル影響

(昭和三年十一月十七日附  
在安東岡田領事報告)

安東ハ朝鮮ニ近接セル關係上日支間ノ感情融和及取引ノ圓滑ナル事ハ支那國內稀ニ見ル處ニシテ從ツテ未タ嘗テ排日貨ノ聲ヲ聞カス濟南事件ノ如キ不祥事ノ突發ニ際シテモ當地製紙業者ヲ除ク外ハ何等日貨排斥等ノ爲ニ著シキ影響ヲ受ケタル形跡ナキカ如シ

而シテ當地ニ於ケル對南支貿易ハ殆ント支那商人ニ依リテ取扱ハレ邦商ハ二三ノ木材商及製紙業者ヲ除キ他ハ概ネ當地支那街、日本、朝鮮及滿洲ニ販路ヲ有スルカ濟南事件後北滿及奉天方面ニ於ケル排日運動ノ爲メニ、當地邦商ノ北滿及南滿向商品ニハ左表ノ如ク毫モ惡影響ヲ受ケタルトコロナク一般ニ昨年ニ比シ寧ロ取引増加ノ跡ヲ示シタリ

安東驛發南滿各地向主要貨物發送數量

品名	單位	生果類		柑橘類		木材類		魚、鮮、鹽		陶磁器類		硝子類		綿糸類		綿布類		絹布類		毛織物類		縮製			
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年		
生果類	噸	1,210	1,110	1,210	1,110	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
柑橘類	噸	1,210	1,110	1,210	1,110	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
木材類	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
魚、鮮、鹽	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
陶磁器類	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
硝子類	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
綿糸類	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
綿布類	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
絹布類	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
毛織物類	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
縮製	噸	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
		本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年

S 1.1.1.0-2

2575

品名	單位	高黃豆		製	類
		斤	百斤		
高黃豆	位單	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		
豆	斤	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		
粗	百斤	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		
品名	單位	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		

又左表ノ如ク支那諸港向發送數量ハ前年ニ比シ減少ヲ示セルカ、前述ノ如ク此方面ハ殆ト支那商人ノ取引ナルヲ以テ之ヲ以テ排日運動ニ依ル影響ト認ムルヲ得ヌ

安東港對支那各港向主要貨物移出數量

品名	單位	高黃豆		製	類
		斤	百斤		
高黃豆	位單	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		
豆	斤	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		
粗	百斤	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		
品名	單位	本年	1,800,000	100	100
		前年	1,800,000		



S 1.1.1.0-2

2577

右ノ外同期間中ニ於ケル排日運動ノ當地經濟界方面ニ及ホセル影響  
 當地邦商ノ南支方面トノ取引アルハニ、三木材商ト鴨綠江製紙會社ニ  
 過キサルカ木材ハ本年ニ入り殆ソト手合ナク只七月ニ於テ天津向箱材

玉 翠 豆 炸 作 府 出 粗 木  
 絹 蠶 蠶 糸 糸 繭 綢 細 材  
 茶 油 糸 繭 糸 繭 綢 海 關

1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100
1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100

1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140
1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140

壹萬個ノ積送ヲ見タルノミ、此不況ハ排日運動ニ因テ生セシモノニ非  
 ス當地相場ノ逆轉ヲ示セルト船運賃ノ高率ナル結果ナリ。而シテ濟南  
 事件ノ爲メニ排日貨ノ影響ヲ蒙リタルモノハ當地製紙業者ナリ、從來  
 上海市場ニ於ケル各國ヨリノ紙類輸入總數中日本品ハ其ノ一割内外ニ  
 過キサリシカ昭和二年九月頃ヨリ日本品ハ漸次此方面ヘノ輸出旺盛ト  
 ナリ漸次諸外國ト其位置ヲ顛倒シ七割乃至九割内外ヲ占ムルノ盛況ヲ  
 示シタルモ濟南事件後排日運動ノ起ルヤ諸外國斯業者ノ爲メ其ノ販路  
 ヲ奪ハレ遂ニ二割内外ニ過キササルノ不振状態ニ陥レリ  
 當地鴨綠江製紙會社製品ハ殆ト各販賣地ノ支那商ニ委託販賣ノ形式ヲ  
 執リ左表ノ如ク滿洲向ハ本年五月濟南事件突發以後ハ其ノ積送高事件  
 以前ニ比シテ六萬壹千圓ノ増加ナルカ南支向ハ事件ノ影響ヲ受ケテ參

BU

2578

S 1.1.1.0-2

拾六萬圓ノ減少ヲ示シ、五月以降積出サレタル貨物モ排日貨ノ爲メ賣 行殆ント杜絶シ着地支那商倉庫ニ停頓セル有様ナリ。	
當地右製紙會社ノ損害トシテハ參拾六萬圓ノ積送減ニヨル希望利益ノ 喪失及ヒ委託品ノ倉敷料製品停帶ニヨル金融ノ梗塞及ヒ之レニ伴フ金 利ノ損害等抽象的ノ損害ハ明カナルモ今直チニ具體的ニ數字ヲ以テ損 害額ヲ算出スルハ困難ナリ、要スルニ排日運動ニ因ル當地邦商ノ損害 ヲ蒙リタルモノハ前記鴨綠江製紙會社ヲ除キ他ニ掲記スヘキモノ殆ク ト無シ。	
鴨綠江製紙會社製品「有光紙」積送高	自昭和二年五月至今年十月
量 一八六、三九七、五〇七、九四一、九〇三、三三三	價 一、〇一八、九一三、九一三、九一三
量 一〇七、九八七、二五七、四四一	價 一、〇一八、九一三、九一三、九一三
滿洲	自昭和三年五月至今年九月

S 1.1.1.0-2 2579

S 1.1.1.0-2

2580

計	口	渡 香 上 天 東		
		津	海	山
至一六千五		八九千	五六千	三九千
至一〇千	一	八千	四九千	四九千
至四〇千	一	八千	五九千	四九千
至九千	一	八千	五九千	四九千
至四〇千	一	八千	五九千	四九千
至一〇千	一	八千	五九千	四九千
至四〇千	一	八千	五九千	四九千
至一〇千	一	八千	五九千	四九千



濟南事件後ニ於ケル排日運動ノ對支貿易ニ及ホセル影響

(昭和三年十一月十七日附  
在安東岡田領事報告)

安東ハ朝鮮ニ近接セル關係上日支間ノ感情融和及取引ノ圓滑ナル事ハ支那國內稀ニ見ル處ニシテ從ツテ未タ嘗テ排日貨ノ聲ヲ聞カス濟南事件ノ如キ不祥事ノ突發ニ際シテモ當地製紙業者ヲ除ク外ハ何等日貨排斥等ノ爲ニ著シキ影響ヲ受ケタル形跡ナキカ如シ

而シテ當地ニ於ケル對南支貿易ハ殆ント支那商人ニ依リテ取扱ハレ邦商ハ二三ノ木材商及製紙業者ヲ除キ他ハ概ネ當地支那街、日本、朝鮮及滿洲ニ販路ヲ有スルカ濟南事件後此北滿及奉天方面ニ於ケル排日運動ノ爲メニ、當地邦商ノ北滿及南滿向商品ニハ左表ノ如ク毫モ惡影響ヲ受ケタルトコロナク一般ニ昨年ニ比シ寧ロ取引増加ノ跡ヲ示シタリ

品名		単位		生		柑		木		魚、鮮、		陶磁器類		硝子類		綿糸布		絹糸布		綿糸布		織物		綿					
安東驛發南滿各地向主要貨物發送數量																													
本年		五		1,211		1,211		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000			
前年		月		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
本年		六		1,100		1,100		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
前年		月		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
本年		七		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
前年		月		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
本年		八		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
前年		月		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
本年		九		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	
前年		月		1,000		1,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000	

品名	單位	高黃豆		品名	單位	藥鐵紙	
		本年	前年			本年	前年
高黃豆	斤百	1,840,000	1,840,000	藥鐵紙	噸	1,000	1,000
		1,840,000	1,840,000			1,000	1,000
		1,840,000	1,840,000			1,000	1,000
高黃豆	斤百	1,840,000	1,840,000	藥鐵紙	噸	1,000	1,000
		1,840,000	1,840,000			1,000	1,000
		1,840,000	1,840,000			1,000	1,000
高黃豆	斤百	1,840,000	1,840,000	藥鐵紙	噸	1,000	1,000
		1,840,000	1,840,000			1,000	1,000
		1,840,000	1,840,000			1,000	1,000

又左表ノ如ク支那諸港向發送數量ハ前年ニ比シ減少ヲ示セルカ、前述ノ如ク此方面ハ殆ト支那商人ノ取引ナルヲ以テ之ヲ以テ排日運動ニ依ル影響ト認ムルヲ得ス

安東港對支那各港向主要貨物移出數量

右ノ外同期間中ニ於ケル排日運動ノ當地經濟界方面ニ及ボセル影響  
 當地邦商ノ南支方面トノ取引アルハニ、三木材商ト鴨綠江製紙會社ニ  
 過キサルカ木材ハ本年ニ入り殆ソト手合ナク只七月ニ於テ天津向箱材

玉蜀黍	粟	豆	榨油	蠶絲	榨蠶絲	屑	出	精	木
4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000
1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000
2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000	4000
5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000	5000
6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000	6000
7000	7000	7000	7000	7000	7000	7000	7000	7000	7000
8000	8000	8000	8000	8000	8000	8000	8000	8000	8000
9000	9000	9000	9000	9000	9000	9000	9000	9000	9000
10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000	10000



壹萬個ノ積送ヲ見タルノミ、此不況ハ排日運動ニ因テ生セシモノニ非  
 ス當地相場ノ逆輸ヲ示セルト船運賃ノ高率ナル結果ナリ。而シテ濟南  
 事件ノ爲メニ排日貨ノ影響ヲ蒙リタルモノハ當地製紙業者ナリ、從來  
 上海市場ニ於ケル各國ヨリノ紙類輸入總數中日本品ハ其ノ一割内外ニ  
 過キサリシカ昭和二年九月頃ヨリ日本品ハ漸次此方面ヘノ輸出旺盛ト  
 ナリ漸次諸外國ト其位置ヲ顛倒シ七割乃至九割内外ヲ占ムルノ盛況ヲ  
 示シタルモ濟南事件後排日運動ノ起ルヤ諸外國斯業者ノ爲メ其ノ販路  
 ヲ奪ハレ遂ニ二割内外ニ縮過キサルノ不振状態ニ陥レリ  
 當地鴨綠江製紙會社製品ハ殆ト各販賣地ノ支那商ニ委託販賣ノ形式ヲ  
 執リ左表ノ如ク滿洲向ハ本年五月濟南事件突發以後ハ其ノ積送高事件  
 以前ニ比シテ六萬壹千圓ノ増加ナルカ南支向ハ事件ノ影響ヲ受ケテ參

B11

滿洲	自昭和二年五月至今年十月	数量	一八六、五〇一	價格	一、七〇、七、四一〇
	自昭和二年十月至今三年四月	数量	一、七〇、七、四一〇	價格	一、七〇、七、四一〇
	<p>關東江製紙會社製品「有光紙」積送高ト無シ。</p> <p>ヲ襲リタルモノハ前記關東江製紙會社ヲ除キ他ニ掲記スヘキモノ殆ク寄附ヲ算出スルハ困難ナリ、要スルニ排日運動ニ因ル當地邦商ノ損害利ノ損害等抽象的ノ損害ハ明カナルモ今直チニ具體的ニ數字ヲ以テ損喪及ヒ委託品ノ倉敷料製品停帶ニヨル金融ノ梗塞及ヒ之レニ伴フ金當地右製紙會社ノ損害トシテハ參拾六萬圓ノ積送減ニヨル希望利益ノ行殆クト杜絶シ着地支那商倉庫ニ停頓セル有様ナリ。</p> <p>拾六萬圓ノ減少ヲ示シ、五月以降積出サレタル貨物モ排日貨ノ爲メ賣</p>				

B11

自昭和三年五月至今年九月	数量	一、〇七、〇八七	價格	一、五、七、四四一
--------------	----	----------	----	-----------

山東	天津	上海	香港	漢口	計
五〇七四〇	五〇六九七	八〇八八	一〇	一〇	五〇六九五
六〇五〇	六〇五〇	一〇四〇	一〇	一〇	六〇五〇
五〇七四〇	五〇六九七	八〇八八	一〇	一〇	五〇六九五
六〇五〇	六〇五〇	一〇四〇	一〇	一〇	六〇五〇
五〇七四〇	五〇六九七	八〇八八	一〇	一〇	五〇六九五
六〇五〇	六〇五〇	一〇四〇	一〇	一〇	六〇五〇
五〇七四〇	五〇六九七	八〇八八	一〇	一〇	五〇六九五
六〇五〇	六〇五〇	一〇四〇	一〇	一〇	六〇五〇
五〇七四〇	五〇六九七	八〇八八	一〇	一〇	五〇六九五
六〇五〇	六〇五〇	一〇四〇	一〇	一〇	六〇五〇

滿 日本侵略之 蒙大東書局一七、十月	外交ABC 世界書局一七、七月	中山先生對 於開國民會 議及廢除不 平等條約之 主義 三民書局一七、二月	帝國主義的 面 目大東書局一七、二月	不平等條約 上海 民國 世界書局一六、六月	帝國主義的 面 目大東書局一七、二月	右當地讀書界趨勢ノ一端トシテ御參考迄報告申進ス
三〇〇〇	四三〇	一〇五〇	三〇五〇	三〇一〇	三〇五〇	記
普通	普通	賣行可ナリ	普通	賣行多シ	普通	

S 1.1.1.0-2

2582

上海方面ヨリ排日或ハ反帝國主義ニ關スル左記書籍ノ入荷ヲ見タリ	主義ニ關スルモ或ハ孫文ノ著書等相當ノ賣行ヲ示シ來レルガ又最近	本件ニ關シ當地舊市街書店ニ就キ調査セル處昨冬南北統一以來三民	排日並ニ反帝國主義書籍ニ關スル件	外務大臣男爵 田 中 義 一 殿	普通第一四五號
三浦	三浦	三浦	三浦	三浦	昭和四年四月廿五日
在安東 總領事 岡 田 兼					

S 1.1.1.0-2

2581

礼

木更

庄 馬 a

通商局

普通第一〇四號

昭和五年三月二十七日

在安東 領事 宇佐美 珍

附屬添附

外務大臣男爵 幣原 喜重郎 殿

排日手巾販賣ニ關スル件

最近當地舊市街國貨公司ニ於テ別添ノ如キ濟南事件ニ關聯セル排日  
 的字句ヲ羅列シタル手巾ヲ販賣シ居ルヲ發見シタル處右ハ同公司ヨ  
 リ上海ノ競新工廠ニ注文購入シタルモノノ由ニテ仕入高ハ別添三種  
 ノ手巾二十枚宛ニテ且高價ナル爲メ(一枚小洋二十仙)賣行面白カ  
 ラサル趣ナルカ當館ニ於テハ右販賣ノ事實ヲ慥ムルヤ直ニ市政籌備

S 1.1.1.0-2

2589

日本蹂躪之山々 東痛史	一七、一〇月	〇〇	〇〇
帝國主義侵略 中國痛史	一七、一一月	〇〇	〇〇
不平等條約十 講	太平洋書局 一七、三月	〇〇	〇〇
日本併呑滿蒙 論	一七、二月	〇〇	〇〇
被侵害之中國	一六、七月	〇〇	〇〇
打倒帝國主義 上海	公理書局 一七、六月	〇〇	〇〇
解放運動之對 外問題	太平洋書局 一六、七月	〇〇	〇〇
以上			

S 1.1.1.0-2

2588

處ニ對シ此種國交ヲ阻害スヘキ商品ヲ販賣禁止方口頭ヲ以テ申入レ  
置キタリ

該手巾三枚添附右報告ス

本信寫送附先

在支公使館、在奉天、上海各總領事

(但シ附屬手巾ハ本省宛ニノミ添付ス)

BII

S-1.1.1.0-2

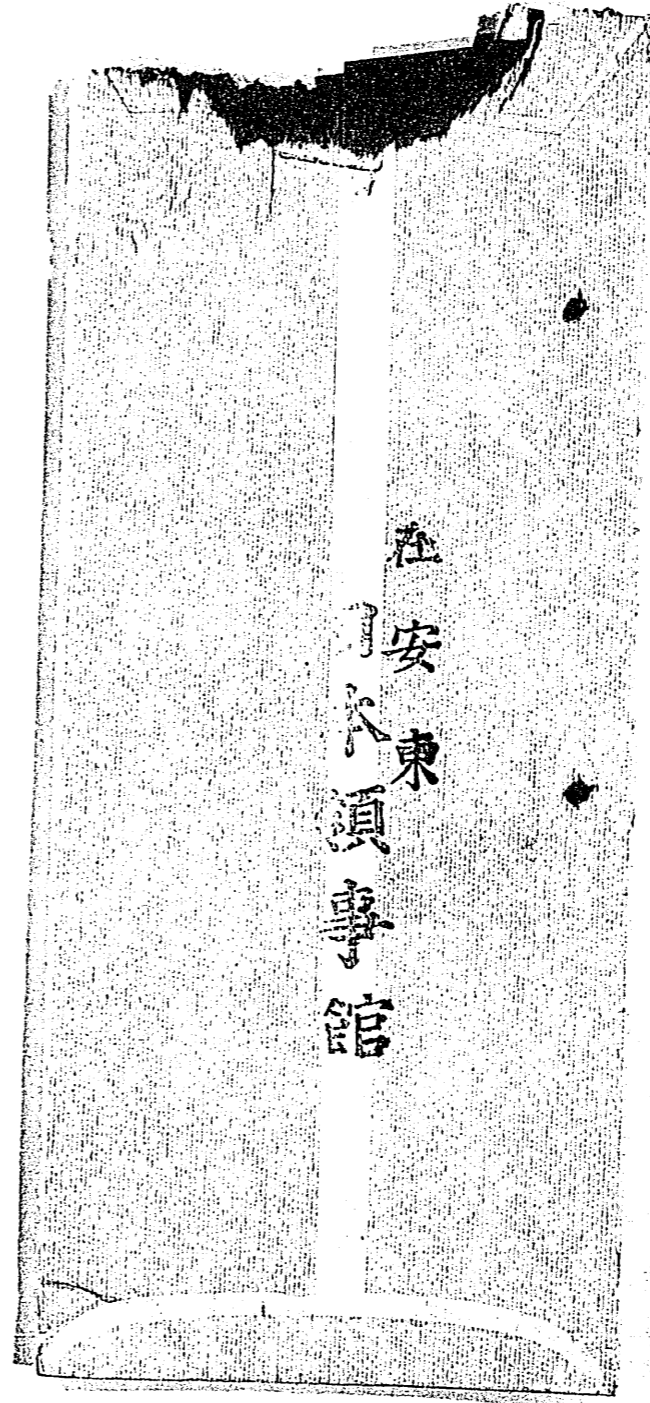
495

普通第一。曲號附屬

排白手巾 三枚

在中

REEL No. A-0023



在安東  
瀋陽  
圖書館

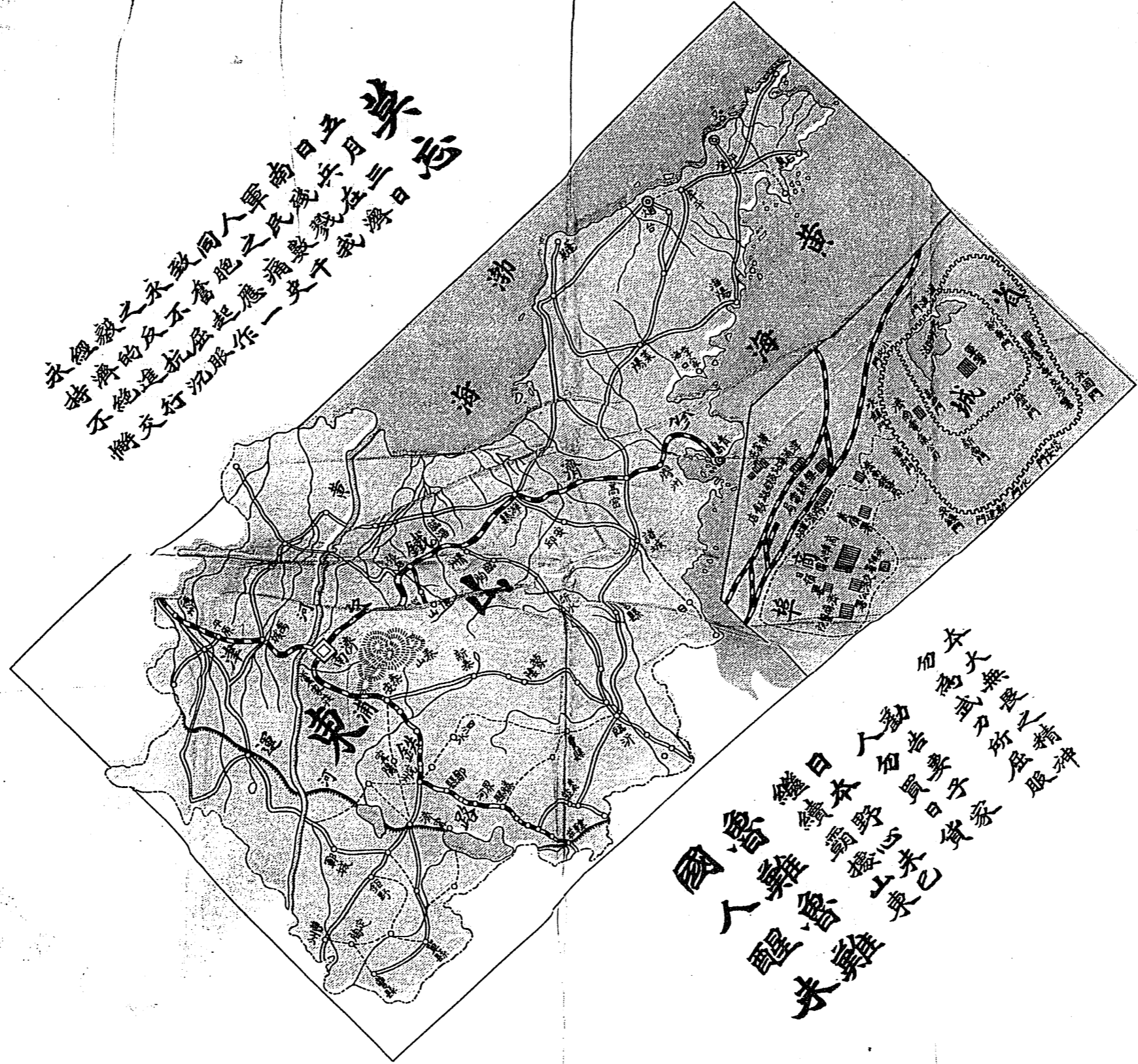
REEL No. A-0023



アジア歴史資料センター



永無敵之永敵同人軍前日五月三日  
 特換約反不奮起之民就死在學日  
 不絕進抗起應痛覺作一史下戰海



國當繼日本勤苦努力  
 人難會難山東日貨家  
 永難

女大無畏之精神  
 和初有力所成取

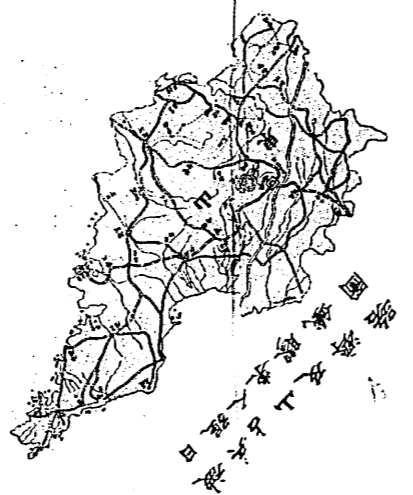


圖 陽武山古蹟  
 陽武山古蹟  
 陽武山古蹟  
 陽武山古蹟

陽武山古蹟  
 陽武山古蹟  
 陽武山古蹟

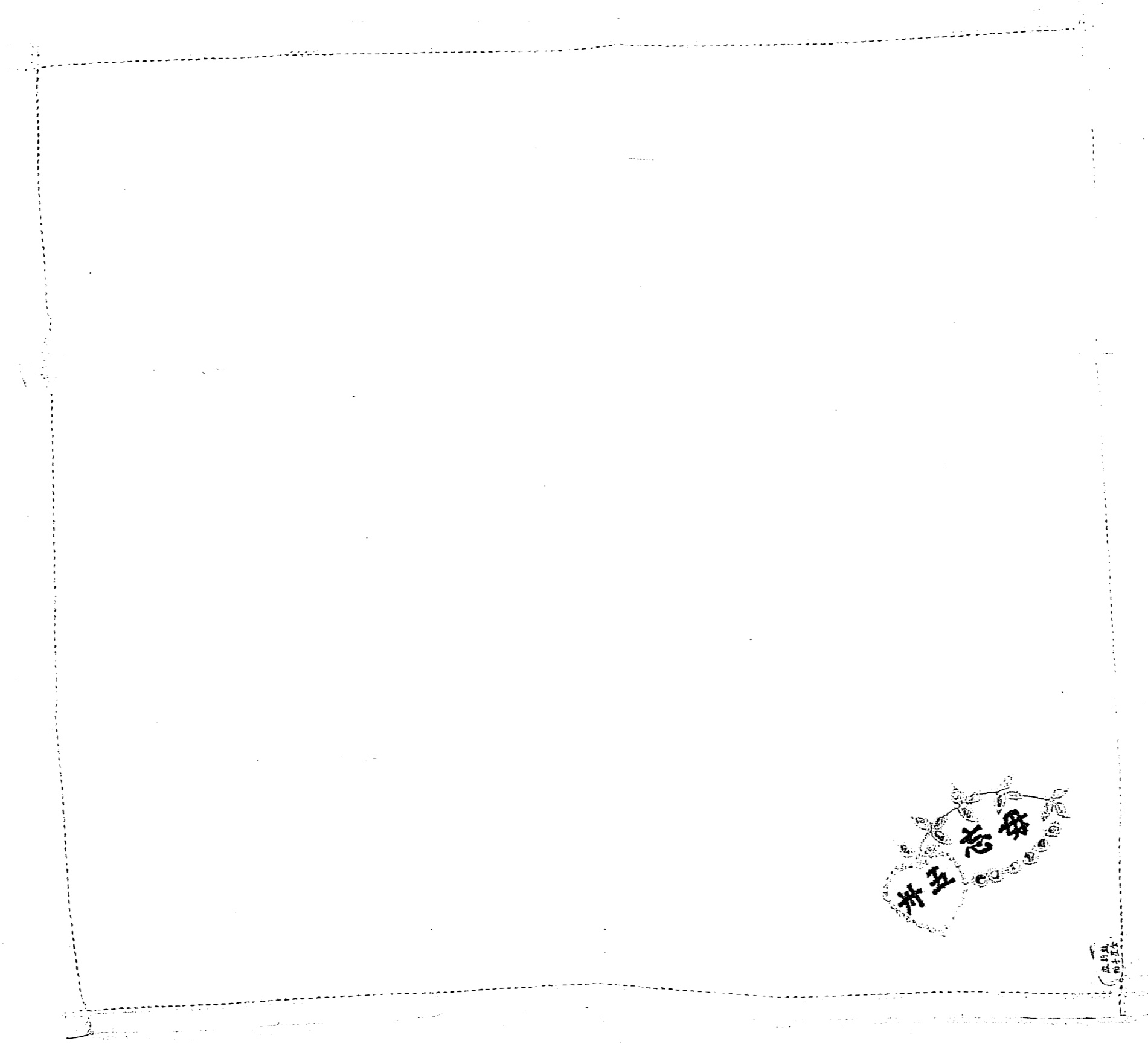
陽武山古蹟  
 陽武山古蹟  
 陽武山古蹟  
 陽武山古蹟



陽武山古蹟  
 陽武山古蹟

陽武山古蹟  
 陽武山古蹟





母志五井

昭和十一年

REEL No. A-0023



中國側各學校ニ於ケル排外的教育  
 現代ニ於ケル中國側ノ教育方針ナルモノカ排外的思想教育ヲ以テ  
 其ノ骨子トナシ特ニ其ノ先ヲ日本ニ向ケ居ル關係上鳳凰城ノ支  
 那側各學校ニ於テモ右方針ニ基キ教育者ハ機會アル毎ニ學生等ニ  
 對シ排日講演並ニ同趣旨ノ訓授ヲナシ彼等ヲシテ不知不覺ノ間ニ  
 排日思想ヲ馴致シ日本側ノ行動ニ對シテハ事ハ善惡如何ニ拘ラス  
 事毎ニ排日宣傳ノ材料ニ供スルカノ傾向アリ娘々廟祭ノ前日即チ  
 六月十一日ニ各學校共生徒ヲ集メ排日的訓授ヲナシ滿鐵會社ノ廟  
 祭宣傳又ハ汽動車ノ運轉並ニ廟祭ニ關聯スル催物ヲ批難シ日本側  
 ノ中國人ニ對スル金錢詐取手段ノ巧妙ナル裏面ノ陰謀ニ注意セヨ  
 トテ學生ヲシテ汽動車ノ便乘催物ノ見物或ハ故ナク附屬地内ニ立  
 入等ヲ禁止シ若シ該事項ニ違反スルモノハ校則ニ依ル一固ノ過失  
 トシテ取扱フ旨言渡ス等極力排日的訓授ヲ爲シタル爲學生等ハ豫  
 テ期待セル廟祭モ豫期ニ反シ幾多ノ拘束ヲ受クルニ至リ自己ノ見  
 物シタキ各種ノ催物ヲ見ルコト不可能トナリ校舍又ハ自宅ニ引籠

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2591

昭和六年七月七日  
 機密第四〇一號  
 外務大臣男爵幣原喜重郎殿  
 在安東  
 領事 米澤菊  
 管内鳳凰城娘々廟祭ニ於ケル排日宣傳ニ關スル件  
 客月中旬管内鳳凰城ニ於テ舉行セラレタル娘々廟祭ニ當リ中國側ニ  
 於テ相當大塚米ニ排日的宣傳ヲ爲サントシタル次第ハ客月廿五日附  
 機密第三六六號拙信ヲ以テ及報告置キタル通ナル處本件排日ノ背後  
 ニ何等カノ策動等アルニ非スヤト思料シ警察官ヲシテ極力内偵セン  
 メタル結果今般右原因ト思料セラレルモノ大體左記ノ通ナルコト判  
 明セリ

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2590

昭和六年七月拾壹日接受

藏日野原



ルノ今日學校側トハ直接關係ノナキ爲此等ノ連絡ヲ缺キ居タル學校側ニ於テハ前記日本側ト中國側ノ親善ヲ惡意ニ曲解シ中國側カ日本側ニ買収セラレタルモノニ非ラサルカノ如キ説ヲ爲ス者サヘアリテ學校職員ノ如キハ此ノ兩者間ノ離間ニ奔走シ何等カノ機會ヲ捉ヘ離間策ノ具体的材料ニ供セントシ居ル模様ニテ今回ノ排日宣傳ニ於テモ陰ニ此等ノ職員ヲ背景ニ活動シタルモノニシテ我官憲ノ宣傳取締方ヲ中國側ニ交渉スル以前ハ公安局方面ニ於テモ彼等ノ意氣ニ壓倒サレ申譯ノミノ取締ヲ爲シ居タルモノナリ

而シテ我警察官ヨリ該宣傳取締ニ關シ六月十二日載知事並張公安局長ニ交渉セシメタル結果ハ直ニ官私服ノ取締員ヲ各要地ニ配置シ現場ノ取締ニ當ラシメタル一方載知事ハ教育局長ヲシテ各學校當局ニ對シ排日行爲及宣傳ノ取締ヲ嚴達シタル結果十二日以後ハ何等排日の宣傳モ認メラレス平穩裡ニ廟祭ノ終了ヲ見タル次第ニテ中國側一般住民モ中國學校職員生徒等ノ此種非常識的行爲ヲ非難シ居ルヲ以テ鳳凰城ニ於ケル我官民有力者間ニ於テモ此ノ機會ニ益々中國側ト

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2593

ラサルニヘカラサルノ止ムナキニ至リタル結果其間思想過激ナル不良學生ハ相集リ策應ノ上鬱憤晴シノ意味ニ於テ排日宣傳又ハ宣傳ビラノ貼付等ノ舉ニ出テタルモノナリ

ニ滿鐵會社ノ乘客誘致ニ對スル嫉妬

本年五月滿鐵會社ハ鳳凰城驛長ノ進言ヲ容レ安東鎮江山樓見物團體ノ募集ヲナシ驛員必死ノ努力ノ結果壹千五百余人トイフ多數ノ團體員募集ニ成功シ臨時列車ヲ連轉シタルカ其後中國側ハ此ノ滿鐵會社ノ爲シタル行爲ヲ中國ニ對スル經濟的ノ侵略ナリト難シ排日宣傳材料ノ一ニ加ヘ滿鐵ノ此種計畫ニ對シ學校側並排日家ニ於テハ不滿及嫉妬心ヲ抱キ居タル模様アリ

三、日本側ト中國側トノ圓滿ナル協調提携ニ對スル學校職員等ノ不滿

現在在鳳凰城警察、郵便局、驛、其他ノ在住有志ト中國側知事、公安局長、地方法院、檢察局、公安大隊、陸軍、農會商務會、水利局、稅捐局其他中國側有志トノ間ハ他地方ニテ見ルハシキ圓滿ナル協調提携ヲ保持シ居リ幾多ノ問題ヲモ容易ニ解決シ居

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2592

密接ナル連絡ヲ保持シ日本側ノ態度ヲ鮮明ニスル方針ヲ執リ排日的  
 行爲又ハ無意味ノ曲解ヲ爲ス余地無カラシムル様努力スルコトニ意  
 見一致シ將來共善處スル予定ナリ  
 右報告申進ス

本信寫送付先 公使 北平 奉天 長春 牛莊 遼陽 鐵嶺

在安東日本領事館

S 1.1.1.0-2

2594